

「とちぎの元気な森」を次の世代に引き継ぐために

とちぎの元気な森づくり

NEWS vol.46



写真：森づくり情報センター事業
（「森の楽校」人工林の手入れ）

▼特集

- ①平成30年度からの「とちぎの元気な森づくり県民税事業」を紹介します
- ②「とちぎの元気な森づくり基金」へ御寄附いただきました
- ③平成29年度第2回とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会が開催されました
- ④「木の香る環境づくり」をして木に触れ合う機会をつくっています

▼元気な森づくり県民会議だより

木づかい推進部会、森づくり推進部会、普及・啓発部会

▼伝言板

発行元：とちぎの元気な森づくり県民会議
事務局：宇都宮市塙田1-1-20 栃木県環境森林政策課内
連絡先：(028)623-3302



「とちぎの元気な森づくりNEWS」は、『とちぎの元気な森づくり県民税』により発行されています。

特集①

「とちぎの元気な森づくり県民税」をとち

森林のはたらき

栃木県の森林は、県土面積の約55%を占めており、私たちの暮らしや環境を守る上で大切な役割を果たしています。



主な取組

新規 とちぎの元気な森づくり未来の森整備事業

◆10年間で5,000haの皆伐後の再造林や樹種転換などを支援し、森林を若返らせます。

○再造林・樹種転換促進事業

針葉樹の再造林又は広葉樹への樹種転換のため、皆伐後の植栽・下刈り、森林作業道の整備、獣害対策に対し支援します。



スギコンテナ苗の植栽



下刈り



剥皮防止ネット

○針広混交林化推進事業

林業経営に向かない条件不利地等の森林において、強度間伐を行い、針広混交林化への誘導を図ります。

新規 とちぎの元気な森づくり森林所有対策事業

◆所有者等が不明な森林を適正に管理して森林の公益的機能を持続的に発揮させるための仕組づくりを進めます。

○森林組合等地籍調査事業

境界や所有者が不明な森林の境界を明確化し、森林を適正に整備・管理していくための、森林組合等による地籍調査を支援します。

○施業集約化促進事業

自ら森林を管理・運営できない所有者と経営を拡大したい林業事業者とのマッチングのための仕組づくりに取り組みます。

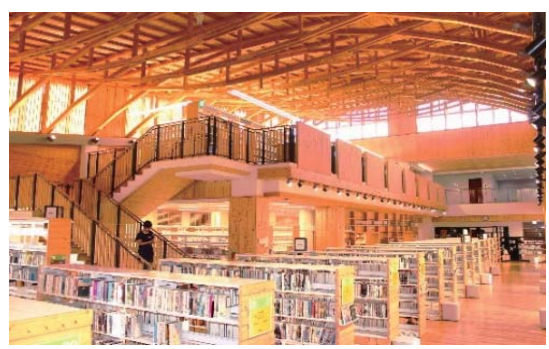
ぎの森を元気にするための取組に活用していきます

とちぎの元気に森づくり木造・木質化等事業

◆多くの人が利用する公共施設、集客施設、商業施設等の木造・木質化等を支援し、木に親しむ環境をつくります。

○木造・木質化支援事業

市町村、民間事業者が実施する中大規模建築物の木造・木質化を支援します。



ふみの森もてぎ図書館（茂木町）

○木製品整備支援事業

市町村が実施する小中学校への木製学習用机・椅子の支援や、公共施設等への木製品整備を支援します。



木製学習用机・椅子
（真岡市立大内中央小学校）



木製ベンチ（佐野市役所）

とちぎの元気に森づくり里山林整備事業

◆民家周辺の里山林を整備し、明るく安全な森林にします。

○里山林整備事業

野生獣被害が発生する恐れのある田畑などに隣接する里山林を整備し、野生獣を人里に近づけないようにしたり、通学路沿いや住宅地周辺にある暗くうっそうとした里山林を見通しのよい明るい里山林に整備します。



整備前後の里山林（野木町）

○里山林管理事業

第1期事業（平成20～29年度）で整備した里山林の維持管理を支援します。

とちぎの元気に森づくり地域活動支援事業

◆地域での森づくり活動や、森林環境学習を支援し、県民の皆さまが森づくり・森林に親しめるようにします。

○森づくりサポート事業

里山林等の持続的な保全のためのボランティアの育成・確保、企業と森づくり活動団体とのマッチング、学校の森林環境学習のための教材の作成等を行います。



森林教室（大田原市）



木工教室（栃木市）

○市町村森づくり活動支援交付金事業

市町村等が実施する、地域における森づくり活動や、子供達の森林環境学習などの支援をします。

とちぎの元気に森づくり県民会議等事業

◆「とちぎの元気に森」を次の世代に引き継ぐための県民運動や事業の普及啓発活動等を行います。

○「とちぎの元気に森づくり県民会議」では、「とちぎの元気に森」を次の世代に引き継ぐための県民運動や税事業の普及啓発活動等を行います。

○とちぎの元気に森づくり県民税の使いみちの透明性・公平性を確保するため、一般からの公募委員を含む県民の代表者による「とちぎの元気に森づくり県民税評価委員会」を開催し、その結果を公表します。

事業費・約7億3千万円の内訳





とちぎの元気な森づくり基金に

ご寄附をいただきました



応援ありがとうございます。

「とちぎの元気な森づくり」の取組にご賛同いただき、平成29年8月から平成30年2月までに、以下の方々からご寄附をいただきました。

- 株式会社カスミ 様
- 株式会社健康太郎の家 様
- 岩原 臣男 様
- 健親会 様

また、5名の個人の方からふるさと納税でのご寄附をいただきました。

皆様から頂きましたご寄附は、「とちぎの元気な森づくり県民税」と合わせて、森林の若返りのための取組や身近な里山林の整備、森林ボランティアの支援や森林・森づくりの大切さの理解促進を図る取組などに、大切に使用させていただきます。



第2回県民税事業評価委員会が開催されました

とちぎの元気な森づくり県民税により実施する事業の透明性・公平性を確保するとともに、事業の推進に必要な事項を検討するため、とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会を設置しています。

今年度第2回となる委員会では、今年度事業の仮評価とこれまでの10年間の仮評価を行い、第1期の税事業の最終年度にあたることから、とちぎの元気な森づくり県民税事業あり方検討会の委員と意見交換会を行いました。



平成29年度に実施した事業の仮評価と平成20年度～平成29年度の10年間の総括を行うため、2月15日に、県総合文化センターにて評価委員会を開催しました。

委員会では、評価報告書（案）について、委員の皆様にご意見をいただき、あり方検討会委員との意見交換会では、次期県民税事業の詳細や国の森林環境税（仮）及び森林環境譲与税（仮）について多くの質問や、御意見をいただきました。



評価結果については、県ホームページに掲載いたします。

評価委員会の開催状況

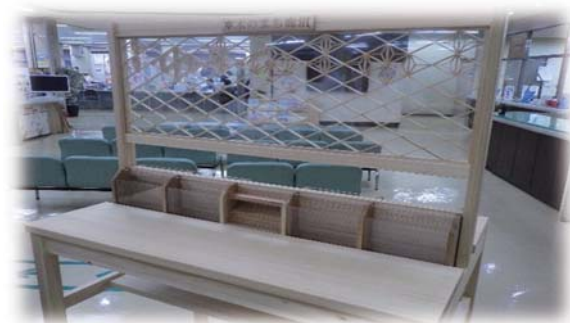
— 評価委員会について、詳しくは県ホームページを御覧ください —

ホーム>くらし・環境>森づくり>とちぎの元気な森づくり県民税（とちぎの元気な森づくり県民税事業）
>とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会



木の香る環境づくり支援

とちぎの元気な森づくり県民税による森を育む人づくり事業



とちぎの元気な森づくり県民税事業で実施している木の香る環境づくり支援は、生活に身近なところで様々な木に触れ合う機会を作ることによって、木材の利用が森林整備の推進につながることへの理解促進を図る事業です。

現在、公園等の公共オープンスペースでの木材利用や、市町村の公共施設や地域活動の拠点となる教育・福祉施設等の木造・木質化を支援しています。来年度は、公共オープンスペースでの木材利用は継続し、木造・木質化は県有施設や民間施設に幅を広げ実施していきます。



木づかい推進部会

木の教育資材配布事業を実施！

木づかい推進部会では、県内の小学生を対象に、木工工作学習をとおして木の良さを体で感じ、森林への関心や愛着を育み、森づくりの大切さを理解してもらうことを目的として『木の教育資材提供事業』を実施しております。

毎年好評をいただいている事業で、今年度は63校の小学校で実施されました。

木工工作学習に使用する資材は、貯金箱、本立て、飾り棚、小物入れ、プランターの5種類のキットから選ぶことができます。

実施校の一つである芳賀町立芳賀北小学校からは「毎回子どもたちはとても喜んでいて、木の香りに包まれながら、楽しく作業しています。」との報告をいただきました。



女性のための木工教室を開催！！

- 平成30年2月25日(日) 宇都宮市冒険活動センターにて -

毎年好評いただいている女性のための木工教室を、2月25日(日)に開催しました。今回は、宇都宮市冒険活動センターにて、「森林の持つ機能・働きについて」の講義の後に小物台を作製しました。

講義は、森林整備の大切さや、木材価格の現状、県産木材を利用することのメリット等、わかりやすい内容で、皆さん一生懸命メモをとっていました。

木工工作実習では、2人一組になり、パーツの向きを確認しながら作業を進めました。簡単なようで実は難しい小物台の作製に苦戦することもありましたが、講師の指導もあり、皆さん満足のいく作品が仕上がりました。

参加された方からは、是非また参加したい！という声が多数寄せられ、大盛況のうちに終了しました。



○今回の会場となった宇都宮市冒険活動センター



○講師の星野工業株式会社の斎藤工場長に講義から実習まで行っていただきました。



○小物台を組み立てるには、木の向きや順番があるため、皆さん熱心に説明をお聞きになっています。



○「のこぎりや金槌を使うのは久しぶり」と話されている方もいました。完成後は、「木の良い香りがする」と皆さん満足されていました。

森づくり推進部会

知っていますか？

とちぎの“森づくり”とその大切さ

－ 様々な方法で森づくり活動をPR －

森づくり推進部会では、県民協働の森づくりの大切さを広く県民の皆様にご理解いただくため、様々な方法で元気な森づくりのPRを行いました。

商業施設管理者等と連携して各種イベントに出展し、パネル展示やPRグッズの配布、工作体験などにより森づくり活動をPRしました。また、元気な森づくりの日（10月16日）記念イベントとして、間伐・里山林整備実施箇所の見学や森づくり体験活動をとおして、森づくりの必要性や、森林の大切さについて理解を深めていただきました。



栃木県フェア（小山市イオン）



保健環境センター公開デー



林業センター公開デー



森づくり活動PR（宇都宮市パルセル）



元気な森づくりの日記念イベント（宇都宮市・矢板市）



10月16日「元気な森づくりの日」には、懸垂幕・横断幕を県庁舎や各地の地方合同庁舎に掲示するとともに、県庁15階展望ロビーにてPRのための展示を行いました。



県庁15階展望ロビーの展示（宇都宮市）



県庁安蘇庁舎（佐野市）



県庁南館（宇都宮市）

普及・啓発部会

森づくりNEWSのバックナンバーを 掲載しています!



みんなで「とちぎの元気な森」を育み、次の世代に引き継ぐための森づくりに関する情報誌「森づくりNEWS」のバックナンバーを、以下に掲載しています。ぜひ御覧ください。

県HP→くらし・環境→自然・動植物→森づくり
→とちぎの元気な森づくり（とちぎの元気な森づくり県民税事業）
→とちぎの元気な森づくりNEWS

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d01/eco/shinrin/zenpan/1202345320422.html>



これからの「とちぎの元気な森 づくり県民会議」について

「とちぎの元気な森づくり県民会議」は、「とちぎの元気な森」を次世代に引き継ぐことを目的として、活力ある森づくりの推進、木づかいの推進などの様々な活動を行っております。

これまで、森づくり推進部会や木づかい推進部会、普及・啓発部会の活動を通して、とちぎの元気な森づくりを進めるための取組を進めて参りましたが、平成30年度以降は、これまであった3部会を統合し、県民会議全体として横断的に取り組んで参ります。

「とちぎの元気な森」を次世代に引き継いでいくために、引き続き、皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

みんなで進めよう!
とちぎの元気な森づくり



「とちぎの森づくりNEWS」は、「とちぎの元気な森づくり県民税」により発行されています。